

2019年2月8日
国立情報学研究所
学術コンテンツ課

2019年度学術情報流通推進委員会(仮称)活動計画(案)

第1期基本方針のもとに、2019年度は次の活動を実施する。

(1) 国内ステークホルダーとの協調

- 学術情報流通推進委員会を開催し、学術情報流通に係る国内外の情報共有を図る。併せて、国内外のオープンアクセス・オープンサイエンス推進のための戦略を検討する。

(2) 国際協調に係る戦略の検討と提言

- 学術情報流通推進委員会を開催し、学術情報流通に係る国内外の情報共有を図る。併せて、国内外のオープンアクセス・オープンサイエンス推進のための戦略を検討する。
- 国内コンソーシアムとともに、国際的なイニシアティブ(arXiv.org, SCOAP³, CLOCKSS)の窓口対応(参加の取りまとめや会費の支払い等)を行う。
- 国際的なイニシアティブの運営に参画するとともに、次の国際会議等に出席して、情報の収集や発信を行う。
 - ・ Open Access Week Advisory Committee
 - ・ SCOAP³ Executive Committee
 - ・ arXiv Member Advisory Board 会議 等

(3) アドボカシー活動の実施

- アドボカシー活動として、SPARC Japan セミナーを数回実施する。2018年度同様に企画ワーキングを設置し、年間テーマを策定の上、年間テーマに沿って、各回の企画・実施を行う。
- SPARC Japan セミナーを含めた活動を、ウェブで広報する。また活動記録のために報告書を発行する。

(4) 学術情報流通の動向に係る調査の提言

- OA2020の実現に向けた国内の学術情報流通に係る調査を企画・提言する。
- 2018年に引き続き、日本の論文公表実態調査について、JUSTICEに協力する。